

一般会計予算決算常任委員会

令和2年12月15日

【開催日】 令和2年12月15日

【開会・散会時間】 午前10時～午前10時13分

【開催場所】 議場

【出席委員】

委員長	矢田松夫	副委員長	河野朋子
委員	伊場勇	委員	大井淳一朗
委員	岡山明	委員	奥良秀
委員	河崎平男	委員	笹木慶之
委員	水津治	委員	杉本保喜
委員	高松秀樹	委員	恒松恵子
委員	中岡英二	委員	中村博行
委員	長谷川知司	委員	藤岡修美
委員	松尾数則	委員	宮本政志
委員	森山喜久	委員	山田伸幸
委員	吉永美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰		
----	-----	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三	総務部長	川地諭
企画部長	清水保	福祉部長	兼本裕子
経済部長	河口修司	財政課長	山本玄

【事務局出席者】

事務局長	尾山邦彦	事務局次長	石田隆
事務局主査兼庶務調査係長	島津克則	事務局議事係長	中村潤之介

【審査内容】

1 議案第138号 令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第16回）
について

午前10時 開会

矢田松夫委員長 ただいまから一般会計予算決算常任委員会を開催いたします。
本日の審査日程についてはお手元に配付してありますとおり進めてまいります。それでは本日の付議事項、議案第138号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第16回）について各分科会での審査が終了いたしましたので分科会長の報告を求めます。最初に産業建設分科会長の報告を求めます。

（中村博行産業建設分科会長 登壇）

中村博行産業建設分科会長 議案第138号令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第16回）について、産業建設分科会担任事項について12月11日委員7人全員出席の下、産業建設分科会を開催し、慎重審査いたしましたので事業の内容、主な質疑について報告いたします。まず概要からです。今回の補正は、害虫トビイロウンカの異常発生や台風による潮風により水田に被害を受けた水稻生産者を支援するため、次年度作付に要する種子の販売価格が下がるように、県と市が歩調を合わせて流通関係団体に補助するものです。論点又は質疑によって明らかになった事項です。まず、歳入では、16款県支出金、2項4目1節やまぐち米次年度生産応援事業補助金382万2,000円は、県が定めた種子1袋3キログラムの単価の2分の1を補助するもの。歳出では、6款農林水産業費、1項3目19節水稻生産者次期作応援事業補助金1,390万2,000円の追加は、県の事業費382万2,917円と本市の事業費1,007万8,771円の合計額です。ここでの主な質疑は、「水稻作付の戸数と面積はどうか」との質問に「令和2年度実績で663人、632ヘクタールである」との答弁。「もち米の種子を県が補助の対象

にしていないのと本市が補助することにした理由は何か」との質問に「県が補助しない理由は分からないが、本市には南高泊干拓というもち米の産地があり、是非支援していきたいのと、農地を守っていくためである」との答弁。「支援を次年度作付に対してではなく、今年の被害に対して行うことは考えなかったのか」との質問に「ウンカによる被害が大半であったが、台風による潮風害がひどい地域もあり、被害の程度を把握できないのが現状であり、被害に対して直接支援することは困難と判断した。認定農業者、農業委員会、集団営農の代表者などに聞いて、最も希望の多かった種子代への補助を行うことにした」との答弁。「最近は何種子より苗の購入者が多いと聞く。苗の購入者への支援はどう考えているのか」との質問に「苗箱の苗の種子代を補助する価格についてJAと調整中である」との答弁がありました。以上で産業建設分科会の報告を終わります。委員各位の慎重御審査をよろしくお願いいたします。

(中村博行産業建設分科会長 降壇)

矢田松夫委員長 産業建設分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。

山田伸幸委員 先ほどトビイロウンカだけでなく、潮風害の被害もひどいということだったんですが、被害の程度というのは、被害金額等も分かっていないということではよろしいのでしょうか。

中村博行産業建設分科会長 被害金額、本年度の被害についての詳細は分からないということでございます。

水津治委員 補助の対象となる水稻の生産農家の基準は、何というふうを確認されましたでしょうか。

中村博行産業建設分科会長 先ほど申しましたように、コストと面積というこ

とでは663人、632ヘクタールということが挙がっていますけども、実際の数について、支援については、JAと協議をするということでございます。

矢田松夫委員長 ほかに質疑はありませんか。

笹木慶之委員 概要の中の下から二番目で、種子の販売価格が下がるようにということと、それから流通関係団体に補助するものとありますが、これは購入価格ではないのでしょうか。まずお尋ねします。

中村博行産業建設分科会長 販売価格については、今年度のような被害があれば、来年度の種子の状況も非常に厳しくなるということで、県外産が入ってくるだろうということもあって、その種子の購入費が高くなるということから、種子の販売価格が下がるようにということでございます。すいません。もう1回流通関係団体について御質問をお願いします。

笹木慶之委員 私が尋ねたのは、今回の補助制度は、いわゆる米作の農家に補助する制度ではないかということを前提で、種子の販売価格が下がるとありますが、ではなしに農家が購入する購入価格ではないかということがまず1点。それから2点目は、県と市が歩調を合わせて流通関係団体に補助するというのは、これは農家ではないかと。そこの確認をしているわけです。

中村博行産業建設分科会長 まず、先ほど価格が下がるようにと申しましたように、県外産も含めて入ってくるようなことで、山口産の種子が不足するということが考えられるということから、それをすることです。それから、農家への支援ではないのかというお話でしたが、事業そのものは農家への支援ということにはなっていないんです。要するに、JAとか米麦改良協会とかの関係のものになっておりますが、実際に支援を受けるのは農業者であるということです。ということは、JA

とかを支援することによって、農業者の負担である種子の購入価格をゼロにしたいということからの事業でございます。

笹木慶之委員 では、もう1点お尋ねしますが、分科会の中でも議論があったようですが、最近では種子よりも苗の購入が非常に多いということで、それについてまだ調整中ということですが、非常に遅いように感じます。ここが一番問題だと思うんです。その辺りはどの程度だったんでしょうか、お尋ねします。

中村博行産業建設分科会長 苗の購入ということが実際には7割、8割ということを知っています。そういったことから、苗箱の種子についてということをお先ほど申しましたが、単価にして苗箱が大体100円ぐらい安くなるだろうということで、きちんとした数字については、またJAと協議をしていくということでもあります。それが調整中ということです。

矢田松夫委員長 ほかに御質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で質疑を終わります。次に新型コロナウイルス感染症対策分科会長の報告を求めます。

（高松秀樹新型コロナウイルス感染症対策分科会長 登壇）

高松秀樹新型コロナウイルス感染症対策分科会長 議案第138号の新型コロナウイルス対策に関する部分について、12月11日委員全員出席で分科会を開催いたしました。概要としては、4款1項8目新型コロナウイルス対策費1,709万1,000円の増額は、新型コロナウイルスワクチンの接種体制を確保するためのもので、11節消耗品費6万円の主なものは、クーポン券等の再発行に要する用紙やラベル、封筒代です。12節通信運搬費756万円は、全市民に個別送付するクーポン券等の郵送料です。13節委託料のうち、システム改修委託料237万6,000円は、新型コロナウイルスワクチン接種の対象者の抽出、個別通知文書

等の印刷、接種記録の管理を行うためのシステム改修費、帳票類印刷・封入等委託料709万5,000円は、クーポン券や説明書などの作成と6万2,000件分の封入作業代ということです。質疑によって明らかになった事項は、まず、クーポン券は1人ずつ一度に2回分を送付する予定である。説明書と予診票等も全て国から統一様式が示される予定である。国の予定が示されていないので、発送時期は未定である。ワクチン接種の順番等も国から示されていない。接種された方には接種済証を交付される予定と聞いている。以上、報告です。

(高松秀樹新型コロナウイルス感染症対策分科会長 降壇)

矢田松夫委員長 新型コロナウイルス感染症対策分科会長の報告が終わりましたので、質疑を求めます。御質疑はありませんか。(「なし」と呼ぶ者あり) 質疑を終わります。では、討論を行います。討論はありませんか。(「なし」と呼ぶものあり) なしと認めます。これより議案第138号について、採決いたします。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

矢田松夫委員長 全員賛成により、本件は可決すべきものと決しました。以上で一般会計予算決算常任委員会を閉会します。

午前10時13分 散会

令和2年(2020年)12月15日

一般会計予算決算常任委員長 矢田松夫